



3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H27事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	心の教育推進事業		学校支援体制の確立と教師の指導力向上	宇都宮市立小中学生、保護者及び教職員等	スクールカウンセラーの派遣	計画どおり	11,419	H13		児童・生徒や教師等が抱える問題に早期かつ適切に対応するとともに、いじめ・不登校等の未然防止に有効な事業であることから、今後ともスクールカウンセラーを派遣していく。
2	文化関係各種大会参加補助金		文化関係各種大会参加に対する必要経費の補助	全国大会及び関東大会に出場する市立小・中学校の文化関係活動団体	参加補助金(交通費及び宿泊費)の交付	計画どおり	1,178	H4		学校教育の一環としての文化活動において、関東大会及び全国大会に出場する小・中学校の文化部に交通費や宿泊費など必要経費の一部を補助することにより、文化活動の一層の推進を図っていく。
3	心の教育プロジェクト	○★	児童生徒の豊かな心の育成	市立小中学校の全児童生徒	表彰制度の確立や指導事例集を活用した教員研修の充実による「宮っ子心の教育」の推進	計画どおり	146	H25		児童生徒の豊かな心の育成を図るため、「宮っ子心の教育指導事例集」を一層活用するとともに、「認め励ます教育」を推進し、学校や地域学校園において道徳と体験活動を有機的に結びつけた「宮っ子心の教育」を推進する。さらに、総合訪問等により効果的事例を収集し、各学校に周知していく。
4	いじめゼロ運動の実施	○★	いじめの根絶に向け、心を育む教育や児童生徒を主体とした取組の推進	市立小中学校に通う児童生徒を中心とする市民	いじめゼロリボンの配付、いじめ根絶集会の実施、「いじめゼロポスター」の作成・配布	計画どおり	293	H20		いじめが大きな社会問題となっていることから、市いじめ防止基本方針に基づき、心を育む教育や児童生徒を主体とした取組の充実を図るなど、「いじめゼロ運動」を推進していく。 また、いじめ等の問題行動に対して、複数の視点からの背景・要因の分析に基づき、総合的な児童生徒指導ができるよう、児童生徒指導強化連絡会による事例研究や、いじめに関する研修マニュアル等を活用し、各学校において組織的に対応していく。
5	適応支援教室事業	○	不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立	不登校の宇都宮市立小中学生	学校復帰や社会的自立に向けた支援等の実施	計画どおり	12,543	H6	独自性	・情緒の安定、生活習慣の改善、集団生活への適応等が図られ、毎年、通級者のうち約7割を超える学校への復帰など成果を上げてきたことから、今後とも適応支援教室における支援を行っていく。また、新たな適応支援教室「まちかどの学校」の指導内容・支援体制等を構築し、支援の充実を図る。
6	教育相談事業		子どもの教育や心理に関する不安の解消	宇都宮市内の幼児(年長児)、小中学生、その保護者及び教職員等	教育センター相談員、指導主事等による教育相談の実施	計画どおり	7,088	S59		増加している相談件数に対し、相談体制を見直し、相談員の増員や初回面談担当者・心理検査相談員による迅速な対応及び関係機関と連携を図ることにより、相談の質の高さを維持していく。今後も児童・生徒の健全な成長を支援するため、本市の教育相談事業の中核としての機能を十分に発揮していく。
7	児童生徒基礎調査事業		いじめ・不登校等の問題の兆候の早期発見	宇都宮市立小中学生	学校生活についての調査の実施	計画どおり	4,434	H17		本調査を実施することにより、いじめや不登校、学級崩壊等の問題の兆候を早期に捉えることが可能となり、それらの予防、並びに望ましい学級経営につなげることができることから今後も調査を実施していく。
8	「宮っ子すくすくノーケータイプラン」の推進		携帯電話等に係る問題の未然防止・早期発見・早期対応	市立小中学校に通う児童生徒を中心とする市民	情報モラル教育の実施、家庭のルール・チェックリスト作成等、ネットいじめ等パトロール事業の実施	計画どおり	2,783	H21		「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」に基づき、児童生徒への情報モラル教育や保護者への意識啓発を図るほか、学校や家庭、地域等と連携し、全市一体となって携帯電話等の使用に係る問題から児童生徒を守るための取組を推進していく。 また、不適切な書き込みの検索・削除や、ネット専門業者による教職員等への研修を行っていく。
9	部活動いきいきプランの推進		部活動の振興及び環境整備	宇都宮市立中学校の生徒	部活動加入の促進	計画どおり	195	H21		生徒の心身の健康や人間形成を目指し、宇都宮市部活動推進計画「うつのみや部活動いきいきプラン」に基づき、部活動指針を踏まえた上で、「部活動指導者ハンドブック」や「部活動推奨リーフレット」の有効な活用を促し、部活動加入の促進を支援する。 平成28年度に、「うつのみや部活動いきいきプラン」の取組評価を踏まえた課題の抽出と、適切な部活動の運営や効果的な指導など、部活動のあり方を検討する。
10	部活動地域指導者派遣事業		地域指導者を活用した部活動支援	宇都宮市立中学校の生徒	部活動地域指導者派遣	計画どおり	1,493	H15		部活動においては、各学校が専門的な技術指導が可能な外部指導者を確保できるように、顧問による専門的な技術指導が困難な学校に対して、地域指導者の派遣を継続し、指導の充実を図る。また、部活動の教育的意義が適切に発揮できるよう、部活動の指導のあり方や事故防止等に関する研修を行う。
11	宇都宮小学校体育連盟補助金		小学校体育連盟運営費の補助	宇都宮市小学校体育連盟主催大会の運営補助	3大会(水泳、陸上、スケート)の開催補助	計画どおり	2,675	S48		本市小学生の体力向上や健全育成のため、小学校体育連盟主催の大会が実施できるよう、今後も補助を継続する。
12	宇都宮・河内地区中学校体育連盟補助金		中学校体育連盟運営費の補助	宇都宮・河内地区中学校体育連盟	宇都宮・河内地区中学校体育連盟主催大会の運営補助	計画どおり	2,874	S47		本市中学生の体力向上や健全育成のため、中学校体育連盟主催の大会が実施できるよう、今後も補助を継続する。
13	関東全国中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会補助金		関東・全国大会参加生徒の宿泊費補助	宇都宮市立中学校運動部員	関東全国中学校体育大会参加者宿泊費の補助	計画どおり	3,393	H14		本市中学生の関東・全国大会参加者の経費負担の軽減を図るため、今後も補助を継続する。
14	栃木県中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会補助金		地区・県大会参加生徒交通費の補助	宇都宮市立中学校運動部員	栃木県中学校体育大会及び宇都宮河内地区中学校体育大会への交通費補助	計画どおり	11,921	S47		本市中学生が中学校体育連盟主催の地区・県大会に参加する際の保護者の交通費負担額を軽減するため、今後も補助を継続する。

15	小・中学校体育活動の推進		児童生徒の体力向上や健康の保持増進	宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	学校訪問における指導	計画どおり		S47		教育課程、学習指導、その他保健体育に関する専門的事項の指導・助言を通し、教科指導に関する指導法など教員の資質向上を図ることで、児童生徒の体力向上や基礎基本の定着につなげていく。
16	うつのみや元気っ子プロジェクトの推進	○★	体力向上の推進	宇都宮市立小中学校の児童生徒	・元気っ子体力チェック(新体力テスト・アンケート)の実施 ・元気っ子チャレンジの実施	計画どおり	6,032	H18	独自性	児童生徒の体力の向上と健康の保持増進を図るため、「元気っ子健康体力チェック」の実施と分析結果の活用、体力向上サポーター派遣回数拡大、「みや!! 元気っ子たいそう」の活用、「元気っ子チャレンジ」参加者への認定証配付等に取組む。
17	学校保健の推進		児童・生徒の健康の保持増進を図るための関係機関との連携・協力体制の強化	宇都宮市立小中学校	医師会、歯科医師会、薬剤師会との打合せ	計画どおり	89	S58		児童・生徒の健康管理に専門的見地からの支援・助言等は必要不可欠であることから、今後も、学校医の研修会への参加や、むし歯予防の作品募集など、三師会との連携・協力体制を強化する。
18	歯の健康教室		子どもの歯・口腔の健康づくりに取り組める能力・態度の育成	宇都宮市立小学校3年生	学校歯科医・歯科衛生士による歯のブラッシング指導	計画どおり	3,240	H9		歯磨きの正しい技能の習得や、むし歯予防の正しい知識を定着させるため、学校歯科医や歯科衛生士から直接指導を受けられる「歯の健康教室」を今後も継続して実施していく。
19	就学時健康診断等事業		就学予定者の心身の状況を把握・保健上必要な助言や適正な就学指導	次年度小学校就学予定者	就学時健康診断の実施	計画どおり	429	S33		就学予定者の心身の状況を把握し、健康に関する必要な助言や就学についての指導を行うため、学校保健安全法に基づき、就学時健康診断を今後も継続して実施する。
20	児童・生徒健康診断事業		児童生徒の健康の保持増進	宇都宮市立小中学校在学児童生徒全員	学校保健安全法に基づく児童・生徒健康診断の実施	計画どおり	55,991	-		児童生徒の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に基づき、児童生徒の健康診断を継続して実施する。
21	性教育サポート事業		生徒の妊娠中絶の現状教育やリスク回避選択できる意識の醸成	宇都宮市立中学校3年生	性教育講演会の実施	計画どおり	788	H14		性に関する諸問題に適切に対応するためには、「性に関する指導」の充実が重要であることから、産婦人科医による性に関する講演を今後も継続して実施する。
22	「食」に関する指導の実施	○★	児童生徒の食を通じた自己管理能力と実践力の育成	宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	学校教育における「食」に関する指導の実施	計画どおり		H20	独自性 先駆的	・児童生徒が自らの食生活を見直し、改善する力が身に付くよう、給食の時間や学級活動、各教科等において、全小中学校・学校給食センターに配置している学校栄養士が授業等に参画しながら、継続的に食に関する指導を行う。 ・「食」に関する指導を、各学校が工夫しながら、高いレベルで実施できるよう、市が独自に作成した分野別指導資料をもとに、食事マナーや食文化などに関する指導の充実を図る。
23	「お弁当の日」の推進	○	児童生徒の食に対する関心の向上と感謝の心の育成	宇都宮市立小中学校に通う児童生徒、保護者	「お弁当の日」の実施	計画どおり		H20	独自性 先駆的	・食事について親子で共に考える機会を創出し、学校と家庭が連携して、小中9年間の発達段階に応じた本市独自のねらいに基づく指導を行う。 ・地域学校園の各学校と連携しながら、「お弁当の日」のねらいを、全ての教職員が十分に理解し、事前・事後指導を含めた計画的な指導を強化していく。
24	学校給食における米飯給食の推進	○★	児童生徒の米飯給食を通じた日本型食生活の再確認・習得	宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	米飯給食の実施	計画どおり	145,075	S52		・おいしいご飯を提供していくことはもとより、日本人の伝統的食生活の根幹である米飯を通じて、望ましい食習慣や食事マナーなどを身に付けさせられるよう、米飯給食の実施回数を全小中学校週4回に拡大し、米飯給食を通じた食育を推進する。 ・多様で魅力ある米飯給食の提供を通して、日本の食文化の理解を深める指導ができるよう、各学校が独自に作成している米飯の献立を全小中学校が共有し、利用できる体制づくりを行う。
25	学校給食における地産地消の推進	○	児童生徒の地域農業への理解促進と郷土愛の育成	宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	学校給食における地場農産物の使用	計画どおり		H14		・児童生徒が、地域の自然や農産物への関心を高めるとともに、生産者への感謝の気持ちを深め、郷土愛を育むことができるよう、市中央卸売市場等と連携して、地場農産物を生産者等の情報とともに学校へ納入するほか、市中央卸売市場で取り扱う青果物の入荷見込情報を各学校へ提供し、献立作成に活用することなどを通して地場農産物の使用量の増加を図り、学校給食での「地産地消」を推進する。
26	学校給食における食物アレルギー対応の推進	○	食物アレルギーを持つ児童生徒も心身ともに健康な学校生活を営めるよう、安全な給食を提供	宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	アレルギー対応の実施	計画どおり	542	H17		・学校・保護者・主治医が連携し、「除去食」や「代替食」などの食物アレルギー対応食を可能な限り学校給食で提供できるよう、本市の「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた対応を徹底する。 ・急性アレルギー症状を発症する可能性があるために医師からアドレナリン自己注射薬を処方されている児童生徒が、アナフィラキシーショック(急性症状)を発症した場合に、全ての教職員が適切に対応できるよう、研修体制をさらに強化する。 ・食物アレルギーを持つ児童生徒が増加しているため、アレルギーにも対応しやすい献立を検討していく。
27	給食費滞納対策事業		学校給食費滞納額ゼロの実現	学校給食費を滞納している宇都宮市立小中学校保護者	各小中学校の滞納対策本部を中心として滞納対策を実施	計画どおり		H19		現年度「滞納額ゼロ」を目標に滞納対策を実施し、新たな滞納を生まないようにする。特に経済的理由による滞納者に対しては、各小中学校において積極的に就学援助、生活保護、児童手当等からの納付制度を勧奨していく。また、過年度分の卒業生の滞納対策についても、継続的に実施していく。
28	米飯給食(委託加工)事業補助金		委託炊飯加工賃相当額の補助	炊飯を委託している各小中学校の給食運営委員会	米飯給食の委託加工賃の補助	計画どおり	10,157	S53		自校炊飯・委託炊飯の相違による保護者負担の給食費の差を縮小するため実施している本補助金は、平成27年度に自校炊飯設備の整備が完了したため、補助金も終了。
29	交通事故防止の推進		児童生徒の登下校時における交通安全の確保及び交通安全対策の推進	・宇都宮市立小中学校の児童生徒 ・市内全域	・交通安全教室の実施 ・交通安全作文募集 ・通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策	計画どおり	53,571	-	独自性	児童生徒の交通安全を確保するため、交通安全教室の実施や、交通安全作文の募集、表彰を行うとともに、通学路交通安全のための取組の基本的な進め方をまとめた「通学路交通安全プログラム」に基づき、スクールゾーン内の安全対策の実施など交通安全対策や合同点検等に継続して取り組む。
30	事故災害共済費		学校管理下における児童生徒の災害共済給付	加入児童生徒	小中学校児童生徒加入の推進	計画どおり	38,405	S33		学校安全の普及充実を図るため、災害共済給付制度についての周知及び加入促進に努め、学校管理下の児童生徒の災害について、保護者に対し災害共済給付を継続して実施する。

#### 4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆いじめ根絶のためには、児童生徒を主体とした取組や、家庭や地域と連携を図り、社会全体で児童生徒を見守る取組などを着実に推進する必要がある。また、学校におけるいじめ根絶の取組に対する保護者からの評価が、教員や児童生徒の評価よりも低いことから、保護者や地域への周知を積極的に図る必要がある。</p> <p>◆児童生徒の豊かな心をはぐくむためには、各学校の「宮っ子心の教育」において、道徳の時間の充実はもとより、小中9年間の系統的な教育や体験活動、認め励ます教育などを一層推進するとともに、学校行事等において、「たくましさ」の涵養を図る取組を推進する必要がある。</p> <p>◆子どもの体力向上や健康の保持・増進のために、「投力、走力の向上」や「好き嫌いをなく食べるようにすること」など、健康・体力、食育を推進する「うつのみや元気っ子プロジェクト」を一層推進することにより、児童生徒の自己の健康を主体的に管理できる能力や体力向上などによる「たくましさ」を育成する必要がある。また、交通事故や不審者から自己の身を守るための行動ができる子どもを育成する必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆いじめ根絶に向け、「いじめ等問題行動対策連絡会」など関係組織を効果的に機能させながら、社会全体が一丸となって、いじめの問題に取り組んでいくとともに、「心の教育プロジェクト」を推進し、各学校が主体となって、家庭、地域と連携を図りながら、心豊かな児童生徒の育成を図る。また、家庭や地域、関係団体等と連携を強化し、体力の向上や食育の推進に取り組むとともに、健康教育の視点から、保健教育や安全教育を含めた4つの教育を有機的に連携させた取組を展開することで、児童生徒の健やかな体の育成を図る。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆いじめは大きな社会問題となっていることから、未然防止に向けた「心の教育プロジェクト」に取り組むとともに、児童会生徒会を主体としたいじめ根絶集会等の取組の充実や、保護者や地域への周知を図るなど、「いじめゼロ運動」を強化していく。また、関係組織を活用し、市及び教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関等の連携の下に、未然防止を図り、早期発見・早期対応に努めるなど、いじめ問題を組織的に克服することを目指す。</p> <p>◆「宮っ子心の教育表彰」の実施による、各小中学校における認め励ます教育の推進や、「心を育てる50の言葉」の活用などを通して、「宮っ子心の教育」を一層推進するとともに、指導資料の活用などにより、心と体のたくましさを涵養していく。</p> <p>◆「元気っ子健康体力チェック」の結果等を踏まえた投力や走力の指導の強化など、「うつのみや元気っ子プロジェクト」による体力向上の推進や、好き嫌いをなく食べることの重要性、食文化・食事マナーに関する理解促進など、「宮っこ食べっこ元気っこプラン」による食育の推進を、家庭や地域、企業等とのより強固な連携の下に取り組むとともに、健康教育の視点から、保健教育や安全教育も含めた4つの教育を総合的に推進し、児童生徒の健やかな体を育む教育の充実を図っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p> <p>◆米飯給食(委託加工)事業補助金については、平成27年度で自校炊飯設備の整備が完了したことから、補助金を廃止した。</p>